

# 目次

---

1. 展示活動	
企画展	2
特別企画展	6
常設展	10
きせつ展示	12
2. 講座・講演	13
3. 利用状況	14
4. 寄贈資料・図書	16
5. 資料特別利用	17
6. 展示・講座等への協力	17
7. 資料保存・修復	17
8. 博物館実習	18
9. 広報・普及活動	20
10. 東京家政大学博物館友の会(博友会)	20
11. 博物館運営委員会	21
12. 博物館職員	21

# 1. 展示活動

## 企画展「まじない いろいろ・いろ・かたち」

会 期 平成29年5月18日(木)～6月21日(水)

会 場 百周年記念館5階 第1展示室

入館者数 3,172名(30日間)

広 報 物 ポスター、チラシ

配布資料 展示品目録(全4頁)、関連図書目録(東京家政大学図書館作成：全2頁)

展示主旨 私たちの身近に穢れを祓い、魔を除け、神仏に願いを託す役割をもつ行事、色や物があることをご存知だろうか？桃の節句や端午の節句、襦袢の赤い色、着物の柄としてよく用いられる麻の葉模様などである。

科学が発達した現代とは異なり、昔は日常に“こわいもの”がたくさん存在した。たとえば病、悪天候や地震などの天変地異のように、原因のわからないことは魔や穢れが引き起こすと考えられていた。

本展では、魔や穢れを払うために人々が生み出した考えや風習の中から、今でも目にする行事、物や模様を中心に紹介した。

### 関連事業 薬玉作り

日 時：①6月1日(木) ②6月17日(土) 13:30～15:30

会 場：百周年記念館4階 共同グループ実習室A

参加人数：①15名 ②15名

内 容：薬玉は良い香りのする薬の玉を花々の中心に据えて球にしたもの。御簾などに下げて魔除けとして用いた。「薬玉作り」では色とりどりの和紙で花を作り、土台に挿して薬玉を製作した。

### ギャラリートーク(当館学芸員による展示品解説)

日 時：①6月14日(水) ②6月19日(月) 15:00～15:40

参加人数：①16名 ②33名

### 博物館見学ツアー(企画展・常設展解説と収蔵庫見学)

日 時：5月22日(月)～26日(金) 15:00～15:45

参加人数：47名(5日間計)



ポスター



薬玉作りの様子



博物館見学ツアー

まとめ 現代でも目に触れることが多い模様や物、行事。それらの中から「まじない」に関係するものを基点に、元々はどのような意味や目的があったのかを知り、自らの身の回りから新たな視点や価値観を得ることを目指した展示であった。結果、来館者からは「物自体を知っていたがその意味を知ることでも今までと違った視点を持てた」「自分でも調べてみたい」などの声が多く寄せられ、理解するにとどまらず、現代では薄れつつある文化への興味・関心を高めることにつながった展示となった。

以下に来館者アンケートから感想を抜粋して紹介する。

[一般]

- \* ところどころにある犬張子のクイズや模様紹介のイラストもかわいくて遊び心があって楽しかったです!! 実は犬張子のことをわりと最近までねこだと思っていました。(20代・女性)
- \* 「まじない」のチラシを見て、なぜ着物の展示? と思い来てみました。着物の柄、麻の葉の意味あいがよく分かりました。私も麻の葉のプリント地の着物を持っているが、ただの模様としてしか見ていなかったのです。(40代・男性)
- \* 浴衣や着物の柄を見ると、どんなものが描かれているか今までと違った視点で見ることができそうである。(50代・女性)

[本学学生・生徒]

- \* 昔のまじないは、マイナスなイメージを持っていましたが、良い意味が沢山あり見学出来て楽しかったです。(中学1年)
- \* 今まで和服を見ても、その柄や刺繍の美しさにばかりとらわれ、モチーフの意味までは考えた事が無かった。入口の小物やパネルで展示の復習を促したり、イラストを豊富に使用したり、誰にでも分かりやすい展示だったと思う。(大学4年)
- \* ①の展示ケースに入っている品が、最初に見た時は、ただキレイだなという感想しかなかったが、見終わった後に見てみたら、こういった意味が込められているんだと違う視点から見る事ができ、良かった。(大学3年)
- \* 一つ一つが別のものではなく、「探してみよう!」のキャプションで展示物が関連づけられているので、より理解しやすかったです。(大学4年)
- \* 「まじない」という言葉に凄く興味を持ち、いろいろ考えながら見る事ができ、まじないのイメージが少し変わり、とても楽しかったです。色々なことを今回で新しく知ったこともあり、とても勉強になったし、これから自分でも調べたいと思いました。(大学2年)



導入 (①のケース)



犬張子と「探してみよう!」のパネル



めでたい模様の展示



廊下装飾 (絵馬複製)

1. 展示活動

展示品目録

資料名	使用・製作年	備考
①ケース		
麻の葉模様単帯		
簪飾り模様半幅帯		
犬張子		
ザル被り犬		
土鈴(犬張子)		
未広		
土笛(子供と犬)		
絵馬(節分)		
犬張子		
土鈴(まが玉)		
土鈴(男雛・女雛)		
櫛(扇模様)		
解き櫛		
打出の小槌		
桃色平絹地薬玉模様一つ身		
②ケース		
浅葱縮緬地桜幔幕大太鼓模様打掛	江戸時代後期	
③ケース		
襦袢	昭和時代	
産着(疱瘡除け)	平成	
赤物(だるま・獅子頭)		
ちゃんちゃんこ・大黒帽子		
卯槌守		奈良県桜井市大神神社授与品
方除印杖守		奈良県桜井市大神神社授与品
五色鈴		愛知県名古屋市洲崎神社授与品
五色鈴		東京都杉並区井草八幡宮授与品
白犬・赤犬		愛知県知立市知立神社授与品
裁縫雛形「雄幕」「雌幕」	1915~1916(大正4~5)年	
仕事着	1970年頃	
④ケース		
千代田之大奥 節分	1896(明治29)年	楊洲周延画
江戸歳時記	1838(天保9)年	須原屋伊八画
⑤ケース		
雛飾り		
⑥ケース		
千代田之大奥 雛拝見	1896(明治29)年	楊洲周延画
貞丈雑記 巻六	1763~84(宝暦13~天明4)年	伊勢貞丈著
流し雛		
⑦ケース		
端午の節供飾り		
⑧ケース		
千代田之大奥 狎のくるひ	1896(明治29)年	楊洲周延画
貞丈雑記 巻一	1763~84(宝暦13~天明4)年	伊勢貞丈著
黒縮緬地扇薬玉御簾模様振袖	1949(昭和24)年	
薬玉鼓模様昼夜帯		
夜着		
⑨-1ケース		
神楽鈴		
土鈴(鳩)		
土鈴(鶯)		
土鈴(叶)		
身代わり鈴		神奈川県鎌倉市長谷寺授与品
シヨール		
筥迫		
⑨-2ケース		
でんでん太鼓 4点		
⑨-3ケース		
絵馬(向かい目)		埼玉県川越市川越薬師授与品
絵馬(心に錠)		

## 1. 展示活動

資料名	使用・製作年	備考
絵馬(交通安全)		
絵馬(蟹)		京都府山城町蟹満寺授与品
絵馬(白馬)		
⑩ケース		
藍縮緬地鷹の羽模様一つ身	1899(明治32)年頃	
裁縫雛形「小裁単衣本重」	1919(大正8)年	
萌黄平絹地飛行機模様一つ身		
百徳	平成	
赤木綿地菊牡丹模様一つ身	1923~1924(大正12~13)年	
⑪ケース		
背守りおよび附紐の飾り	1927~1944(昭和2~19)年頃	
染分平絹地玩具模様一つ身		
土人形(這子形)		
守巾着(這子形)		
犬張子・犬張子型置物		
白絹地玩具模様襦袢	1941(昭和16)年頃	
⑫ケース		
装束 長袴	1915(大正4)年	大正度御即位式親王妃殿下着用
⑬-1ケース		
九字晴明叶	1929~1929(大正14~昭和2)年	
九字晴明叶	1920(大正9)年	
裁縫雛形「長暖簾」	1905(明治38)年	
⑬-2ケース		
裁縫雛形「幟」	1919~1920(大正8~9)年	
下總佐倉藩旗指物羽織圖		
⑭ケース		
麻の葉模様一つ身	1920~1921(大正9~10)年頃	
帯揚	昭和時代初期	
麻の葉模様銘仙着物		
白絹地麻の葉模様名古屋帯		
麻の葉模様銘仙着物	昭和時代初期	
牡丹籠目模様一つ身		
水辺模様着物	1965(昭和40)年頃	
蝶枝垂れ桜柳丸紋模様名古屋帯	昭和時代	
⑮ケース		
黒地矢羽根模様銘仙着物	1953(昭和28)年頃	
矢羽根飾り		
青地矢羽根模様銘仙着物	1935~1945(昭和10~20)年頃	
⑯ケース		
鶯色地梅橘模様羽織	昭和時代	
吉祥模様名古屋帯		
納戸縮緬地南天模様長着	大正時代	
⑰ケース		
薄藤縮地扇面秋草模様留袖	1932(昭和7)年	
白絹地扇牛車模様丸帯	1935~1945(昭和10~20)年頃	
檜扇		
薄桃色地扇模様名古屋帯		
桃色地扇模様祝着		
⑱ケース		
櫛		
梳き櫛		
八稜鏡	1915(大正4)年	
紅棒	大正時代	
紅猪口	明治時代	
鏡模様昼夜帯		
鏡模様丸帯		
⑲ケース		
黒縮緬地松梅幔幕模様振袖	1935(昭和10)年	
黒絹地松鶴宝尽くし模様振袖	1941(昭和16)年	
薄茶縮緬地藤橘雲模様振袖	1949(昭和24)年	

## 1. 展示活動

### 特別企画展「辰五郎と滋の見た 明治の衣生活大転換」

会 期 平成29年10月19日(木)～11月24日(金)

会 場 百周年記念館5階 第1展示室

入館者数 2,781名(31日間)

出 版 物 図録『辰五郎と滋の見た 明治の衣生活大転換』(カラー20頁)

広 報 物 ポスター、チラシ

配布資料 展示品目録(年表1頁を含む全4頁)、関連図書目録(東京家政大学図書館作成：全2頁)

展示趣旨 幕末の開国以降、近代化を目指す新たな社会の中で、日本人の服装は激変する。「洋装化」の一方で、「改良服」の考案など、和服の合理化が進められた。また、ミシンの導入、羊毛や化学染料の使用といった、衣生活を根幹から揺るがす変化が起きた。

本展では、校祖渡邊辰五郎とその長男で二代目校長の渡邊滋の視点を取り入れながら、明治時代の服装の変化をたどった。大礼服や着物、裁縫雛形、書籍等を展示し、衣生活の大転換期にあって日本人が何を考え、何を着てきたのかを見つめ直す場とした。

関連事業 着装体験「渡邊辰五郎考案『改良服』を着てみよう」

日 時：10月23日(月)～26日(木)、11月8日(水)～11日(土)  
13:00～15:30

会 場：百周年記念館5階 特別展示室

参加人数：53名(8日間計)

内 容：「改良服」は渡邊辰五郎が考案した、着物の不便な点を改良した衣服。当館で複製した改良服を使用。

ワークショップ「和紙で着物の雛形(ミニチュア)を作ろう」

日 時：①11月2日(木) ②11月11日(土) 13:00～15:30

会 場：百周年記念館4階 共同グループ実習室A

参加人数：①8名 ②7名

内 容：「雛形尺」(渡邊辰五郎が考案した縮尺)を応用し、和紙で実物の約1/6縮尺の着物を製作した。

ギャラリートーク(当館学芸員による展示品解説)

日 時：①10月21日(土) ②11月1日(水) ③11月16日(木)  
15:00～15:45

参加人数：①11名 ②23名 ③20名



ポスター



着装体験



ワークショップ



ギャラリートーク

まとめ 本展を通して最も伝えたかったことは、明治時代の人々が苦勞と工夫を重ねて服装の大転換期を乗り切り、現代に続く近代的な衣生活を築いてきた、ということである。その具体的な例として、渡邊辰五郎と滋の取り組みに注目した。この二人を中心に据えることで、明治という時代の雰囲気や服装の持つ意味を身近に感じ、かつ本学の歴史を見直すことができたという声が多く聞かれた。特に、裁縫の練習のために学生が製作した裁縫雛形(衣服のミニチュア)の展示は、辰五郎と滋による教育の質の高さを物語り、実物資料の少ない幕末から明治初期の服装がよく分かる展示品として好評だった。

以下に来館者アンケートからの抜粋を紹介する。

[一般]

- \* 「大転換」の中にも、様々な試みがあった事が分かった。(60代・女性)
- \* 洋装の歴史が、実物、また雛形を通してよくわかった。教育の歴史の重みが伝わってきた。(50代・女性)
- \* 新しいことへの挑戦をされた創立者の先生の心意気が素晴らしいと感動いたしました。(60代・女性)
- \* 辰五郎、滋両先生のご努力にも敬服いたします。雛形の展示方法は当時の服装と対比させて、大変いきいきと頭に入ってきました。大変良かったです。(70代以上・女性)
- \* 解説がとても分かりやすく、特にハンズオンのコーナーは和と洋の違いが明確に分かり感銘を受けました。(30代・男性)

[本学学生・生徒]

- \* 「渡邊さんの視点で見る」というのが何より新鮮でおもしろかったです。(大学4年)
- \* 昔の卒業生とのつながりを感じられてとても面白い。ハンズオンコーナーで、和服と洋服の違いをボールと布で表しているのがとてもわかりやすくて良かった。(大学1年)
- \* 校祖の歴史と一緒に洋装化の動きを知ることができた。当時の給料に対しての服の値段など細かく説明されていて分かりやすかった。(大学4年)
- \* 明治の衣生活の変化を、実際の服や裁縫雛形とともに紹介されていて非常に良い展示であった。縫製方法の説明などもあって、服美としては面白いと思う展示がたくさんあった。(大学4年)
- \* 私は児童学科のため、服について詳しくはありませんが、楽しく展示を見る事ができました。見ているだけでなく布の素材を触ることもできて面白かったです。(大学4年)



「男性の洋装化」の展示



改良服



ハンズオンコーナー



和装(外衣)の展示



撮影コーナー

# 1. 展示活動

## 展示品目録

資料名 (◎は重要有形民俗文化財)	使用・製作年	備考
①ケース		
裁縫雛形「三才羽織」	明治39年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「風合羽」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「半合羽」◎	明治34年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「長合羽」◎	明治30年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「大黒頭巾」◎	明治36年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「宗十郎頭巾」	明治34年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「船底頭巾」	明治33年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「山岡頭巾」	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「吉原頭巾」	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「細袴」	明治30年代前半	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「小袴」	明治30年代前半	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「野袴」	明治33年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「平袴」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「本裁十番馬乗袴」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
第1章 洋装のはじまり		
②ケース		
萌葱花鳥文狩衣		絹
文官大礼服(勅任官)	明治後期	ウール 金刺繍 上田萬年着用
燕尾服	明治後期～大正期	ウール
軍服上衣・段袋	江戸末～明治初期	毛織物
陸軍将校正装	大正初期	ウール
③ケース		
『帝国服制要覧』	明治44年	大阪毎日新聞社
④ケース		
フロックコート	明治後期～昭和期	ウール、絹
⑤ケース		
『西洋衣食住』	慶応3(1867)年	片山淳之助著
裁縫雛形「背広」「大人チョッキ」「ズボン」	明治33年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「シングルブレストッドサックコート」「シングルブレストッドヴェスト」「パンツ」◎	大正2年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「本裁太鼓胴シャツ」◎	明治30年頃	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「本裁ホワイトシャツ」◎	明治42年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「本裁膀上股引仕立ズボン下」◎	明治45年	木綿 縮尺約1/3
⑥ケース		
《現世佳人集》	明治23年	楊洲周延画
⑦ケース		
桂・切袴・沓	大正期	絹
⑧ケース		
デイ・ドレス	1870年代前半	イギリス 絹 東京家政大学服装史研究室蔵
裁縫雛形「婦人服」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
デイ・ドレス	1900年代	木綿 東京家政大学服装史研究室蔵
裁縫雛形「シャートウエイスト」「スリーゴワードコステュームスカート」	明治38年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「イトンヂアケット」「スリーゴワードコステュームスカート」◎	明治38年	木綿 縮尺1/2
ローブ・デコルテ	明治末期	絹 ビーズ スパンコール 畑井銀子(辰五郎四女)着用
⑨ケース		
山高帽	大正～昭和期	ウール
夏帽子	明治38年	木綿 絹リボン
夏帽子	明治30年頃	麻 レース 絹リボン
リボン見本帳「細巾類見本帖 三」「束髪見本帖 二」	明治末から昭和期	谷中のご屋根会蔵
リボン見本帳「見本帳 巻 参考品」「見本帳 式 所品」	昭和期	谷中のご屋根会蔵
第2章 和と洋のはざままで		
⑩ケース		
裁縫雛形「子供西洋前掛」◎	明治30年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「子供物西洋前掛(櫛掛)」◎	明治42年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「子供物西洋前掛(釦掛)」◎	明治42年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「子供物西洋前掛(釦掛)」◎	明治41年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「小裁普通シャツ」◎	明治45年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「小裁ズボン下」◎	明治45年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「シミーズ」	明治33年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「ベティコート」	明治33年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「ドロワース」	明治33年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「小裁運動シャツ・ズボン」◎	明治45年	木綿 縮尺約1/3



## 1. 展示活動

資料名 (◎は重要有形民俗文化財)	使用・製作年	備考
裁縫雛形「女児服」◎	明治30年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「女筒単服」◎	明治38年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「子供洋服」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「女筒単服」◎	明治41年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「子供洋服」◎	明治38年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「学校制服」◎	大正2年	木綿 縮尺1/2
⑪ケース		
裁縫雛形「弁護士礼服・帽子」	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「看護服・帽子」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「消毒衣」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「男物海水浴着」	明治43年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「女物海水浴着」	明治43年	木綿 縮尺約1/3
⑫ケース		
裁縫雛形「五衣・唐衣・裳(十二単)」	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「束帯」	明治38年～大正7年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「狩衣・刺貫袴」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「直垂」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「袴」	明治38年	木綿 縮尺約1/3
⑬ケース		
裁縫雛形「支那服」	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「朝鮮袴」	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「朝鮮男子服袴」	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「韓国婦人服長衣」	明治39年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「赤古里」「朝鮮服(下衣)」	明治40年 / 明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「朝鮮服(子供用と大人用)」	明治30年代	木綿 縮尺約1/3
⑭ケース		
渡邊辰五郎考案の改良服(復元)	平成24年	木綿
横井玉子(女子美術大学創設者)考案の女子改良服(復元)	平成12年	ウール 女子美術大学歴史資料室蔵
⑮ケース		
裁縫雛形「改良服女物」「改良袴」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「女股引」◎	明治45年	木綿 縮尺約1/3
渡邊辰五郎直筆の手紙	明治後期	和紙
第3章 和服の近代化		
⑰ケース		
黒木綿地杉折枝鶴模様振袖	明治前期	木綿
鼠縮緬地近江八景模様振袖	明治中期～後期	絹
鼠平絹地霞花模様小紋着物	明治前期～中期	絹
紫縮緬地御簾松菊桐模様振袖	明治後期	絹
染分変わり織地菊牡丹芙蓉貝桶扇模様振袖	明治末期	絹
⑱ケース		
黒斜子地紋付着物	明治後期	絹 渡邊辰五郎着用
裁縫雛形「二枚重」◎	大正8年	木綿 縮尺1/2
裁縫雛形「本裁本比翼・付比翼」◎	明治41年	木綿 縮尺約1/3
黒縮緬地岩笹模様の紋付着物	明治後期	絹 渡邊敏子(滋の妻)着用
⑳ケース		
裁縫雛形「女児服」「長襦袢」	明治30年代前半	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「女物海水浴着」◎	明治30年 / 明治34年	木綿 縮尺約1/3
㉑ケース		
裁縫雛形「インバーネス」(複製)	平成6年	木綿 縮尺1/3
濃浅葱木綿地半合羽	江戸後期	木綿 縮尺約1/3
トンビ(二重まわし)	大正期～昭和初期	ウール
裁縫雛形「本裁男物コート」◎	明治38年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「女東コート」◎	明治42年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「本裁女物単羽織」◎	明治41年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「四ツ身被布」◎	明治43年	木綿 縮尺約1/3
黒緞子地卍つなぎ龍丸模様被布	明治期	絹
裁縫雛形「本裁女物被布」◎	明治30年	木綿 縮尺約1/3
㉒ケース		
女袴の着装(イメージ)		
裁縫雛形「本裁四布遣男袴」「本裁三ツ稜女袴」◎	明治43年	木綿 縮尺約1/3
裁縫雛形「渡邊式改良袴」2点◎	明治45年 / 大正9年	木綿 縮尺約1/3
渡邊式改良袴	昭和期	木綿

## 1. 展示活動

### 常設展① 「学園の歴史と創設者」「渡辺学園裁縫雛形コレクション」「渡辺学園の歩み」

会 期 平成29年3月17日～平成30年2月14日

会 場 百周年記念館4階 第2展示室

広 報 物 ポスター(常設展①・②共通)

配布資料 「校祖渡邊辰五郎の事績」(全1頁)、「重要有形民俗文化財渡辺学園裁縫雛形コレクション」(全2頁)、「青木誠四郎著書目録 [研究書]」(全4頁)、「青木誠四郎著書目録 [教科書]」(全2頁)

展示趣旨 「学園の歴史と創設者」

本学の基礎を築いた校祖渡邊辰五郎と大学開学当初の学長青木誠四郎の業績、また二人が掲げた建学の精神「自主自律」、生活信条「愛情・勤勉・聡明」を併せて紹介。

「渡辺学園裁縫雛形コレクション」

裁縫雛形は、明治から昭和にかけて、本学の教育課程の中で製作された衣服や生活用品等のミニチュアである。渡邊辰五郎が考案した裁縫教授法のひとつで、布地と時間が節約できる画期的な方法として好評を得た。

当館では、現在約4500点の裁縫雛形を所蔵しており、うち2290点が教科書や製作用具61点とともに、平成12年12月27日に国の重要有形民俗文化財に指定された。

当コーナーでは、和装、洋装、有職類、生活用品の裁縫雛形を約80点展示。半年(前期・後期)ごとに展示替えを行っている。

「渡辺学園の歩み」

本学「学校法人渡辺学園」は、明治14年、渡邊辰五郎が本郷区湯島の地に開設した私塾「和洋裁縫伝習所」としてはじまる。当コーナーでは、学園設立時から現在に至るまで、伝統ある本学の歩みを紹介。



学園の歴史と創設者 渡邊辰五郎



学園の歴史と創設者 青木誠四郎



渡辺学園の歩み



渡辺学園裁縫雛形コレクション



渡辺学園裁縫雛形コレクション

## 常設展② コレクション展示 前期「日本の食—小麦—」／ 後期「収蔵庫蔵出し展」

会 期 前期：平成29年3月17日～平成29年7月19日

後期：平成29年9月1日～平成30年2月14日

会 場 百周年記念館4階 第3展示室

広 報 物 ポスター(常設展①・②共通)

展示趣旨 前期「日本の食—小麦—」

日本の主食といえば、第一に「米」が挙げられるが、小麦を原料として作られる、うどん・ラーメンなどの麺類やパンも、現在では大変需要のある食品である。小麦は中国を経由して弥生時代に日本に伝播したといわれ、奈良時代から平安時代には、小麦粉加工品が遣唐使を通して伝わり、宮中の正月の宴会などで用いられるようになった。その後も他国より伝わった製粉・加工技術を取り入れながら、日本特有の食文化を発展させてきた。その中には、日本人好みに和洋折衷された料理も少なくない。

本展では、その土地の歴史や気候風土を今に伝える郷土料理を中心に、日本の食生活を支え、豊かにしてきた小麦について紹介した。

後期「収蔵庫蔵出し展」

当館では、現在2万点を超える資料を所蔵しているが、その全てが展示の機会に恵まれるわけではない。企画展や常設展の展示趣旨に合うものを選びだして展示をするため、資料の選定に偏りが生じる。

本展は、過去に公開をしたことのない資料を中心に展示し、当館の資料をより多く知ってもらう機会とした。

「博物館はこんなものまでもっていたの」という新鮮な驚き感じてもらうため、美しいものから変わったものまで、東京家政大学博物館の新たな一面を紹介した。



ポスター(前期)



ポスター(後期)



日本の食—小麦—



収蔵庫蔵出し展

## 1. 展示活動

### きせつ展示

展示場所 百周年記念館1階ロビー

展示趣旨 日本に伝わる年中行事を、各行事にまつわる展示物および解説パネル等で紹介する。

テーマと期間

- 入学祝い：平成29年4月3日～4月7日
- 端午の節句：平成29年4月21日～5月9日
- 母の日：平成29年5月9日～6月19日
- 父の日
- 七夕：平成29年7月3日～7月10日
- 丑の日：平成29年7月24日～8月7日
- 重陽の節句：平成29年8月29日～9月11日
- 十五夜：平成29年9月12日～10月5日
- 十三夜：平成29年10月25日～11月1日
- 酉の市：平成29年11月2日～7日、11月17日～31日
- 七五三：平成29年11月7日～11月16日
- 羽子板市
- 正月事始め：平成29年12月5日～12月25日
- 冬至：平成29年12月15日～12月25日
- 正月：平成30年1月9日
- 小正月：平成30年1月10日～1月15日
- 節分
- 初午 } 平成30年1月26日～2月8日
- 針供養 }
- ひな祭り：平成30年2月22日～3月3日
- 卒業祝い：平成30年3月12日～3月18日
- 花見：平成30年3月19日～4月2日



七夕



十五夜



羽子板市、正月事始め、冬至



小正月

## 2. 講座・講演

### 博物館講座

当館館長による講座「仏像入門Ⅲ－仏像の造形と表現－」

会場 百周年記念館4階 中会議室

日時 ①11月18日(土) ②11月25日(土) ③12月2日(土) 全3回  
各回とも15:00～16:30まで ※1回のみ参加も可

講師 若林繁(本学造形表現学科教授・当館館長)

参加人数 ①32名 ②19名 ③29名

概要 平成27年から続いた「仏像入門」シリーズの最終回。「仏像入門Ⅰ－仏像の種類とすがた－」(平成27年度開催)では、いろいろな仏像とそのすがたの特徴を解説。「仏像入門Ⅱ－仏像彫刻の材質と技法－」(平成28年度開催)では、仏像のつくり方などに着目した。

3回目となる今回は、飛鳥時代から鎌倉時代までの各時代の仏像の表現上の特色をとらえた。飛鳥時代の平面的な表現から奈良時代の理想化された写実へ、さらに平安時代の優美な表現、鎌倉時代の力強さへの志向と、作例を通して説明した。

「仏像入門Ⅲ－仏像の造形と表現－」の内容

#### ①飛鳥・白鳳・奈良(天平)時代

わが国に仏教が伝えられた飛鳥時代の仏像は平面的な造形である。次第に写実性が加わり、奈良時代は仏像彫刻の全盛期を迎える。理想的な写実的表現を実現した。

#### ②平安時代

この時代は寛平六年(894)を境に、前期と後期に分けられる。量感のある厳しい表情から穏やかで優美な造形へと、日本的な表現の仏像が生まれる時代である。

#### ③鎌倉時代

仏師運慶により、新しい様式が創出される。そしてこの時代を主導していく。現実的で力強い造形は、新たに勢力を築いた武士たちに支持されていった。

まとめ 参加者からは、「豊富な知識と経験に裏打ちされた興味深い話が聞けて満足した」「仏像を見るのが楽しみになった」「ぜひまたこのような機会をもうけて欲しい」等、終了を惜しむ声や次回に期待する声が上がった。仏像人気の高さがうかがえるとともに、生涯学習の場として博物館が果たすべき役目を再認識した。

● 2017年 博物館講座のお知らせ (申込制) ●

当館館長 若林繁(造形表現学科教授)の専門は仏像です。好評だった昨年に引き続き、今年も館長による講座を実施します。

### 仏像入門Ⅲ－仏像の造形と表現－

・11月18日(土) 飛鳥・白鳳・奈良(天平)時代  
・11月25日(土) 平安時代  
・12月2日(土) 鎌倉時代

[時間] 15:00～16:30  
[定員] 50名  
(申込制 10/19(木)9:30より受付)

仏像入門Ⅰの「仏像の種類とすがた」では、いろいろな仏像とそのすがたの特徴を、仏像入門Ⅱの「仏像彫刻の材質と技法」では、仏像のつくり方などについてお話ししました。今回は飛鳥から鎌倉時代までの各時代の仏像の表現上の特色をとらえます。飛鳥時代の平面的な表現から奈良時代の理想化された写実へ、さらに平安時代の優美な表現、鎌倉時代の力強さへの志向と、作例を通して説明します。



ポスター



講座の様子「仏像入門Ⅰ」平成27年度



模型による解説「仏像入門Ⅱ」平成28年度



スライドによる解説「仏像入門Ⅲ」平成29年度

### 3. 利用状況

#### 各月の開館日数と入館者数

##### 平成28年度 入館者数集計

企画展「染色 布へのアプローチ」 平成28年5月12日～6月15日  
 特別企画展「西洋服装史Ⅱ スタイルとディテイル」 平成28年10月13日～11月17日

月	企画展						常設展					
	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数
4	-	-	-	-	-	-	118	13	59	10	200	25
5	502	57	542	85	1,186	17	162	23	204	96	485	24
6	626	84	914	56	1,680	13	275	32	586	44	937	28
7	-	-	-	-	-	-	161	5	41	10	217	16
8	-	-	-	-	-	-	127	0	4	4	135	3
9	-	-	-	-	-	-	104	4	64	5	177	23
10	964	55	643	21	1,683	17	427	18	92	25	562	28
11	613	59	505	36	1,213	15	279	15	93	19	406	24
12	-	-	-	-	-	-	85	1	14	0	100	19
1	-	-	-	-	-	-	22	5	3	0	30	16
2	-	-	-	-	-	-	19	8	1	15	43	19
3	-	-	-	-	-	-	26	0	0	0	26	12
合計	2,705	255	2,604	198	5,762	62	1,805	124	1,161	228	3,318	

	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数
企画展計	2,705	255	2,604	198	5,762	62
「染色 布へのアプローチ」	1,128	141	1,456	141	2,866	30
「西洋服装史Ⅱ スタイルとディテイル」	1,577	114	1,148	57	2,896	32
常設展計	1,805	124	1,161	228	3,318	237
入館者合計	4,510	379	3,765	426	9,080	

##### 平成29年度 入館者数集計

企画展「まじない いろいろ・いろ・かたち」 平成29年5月18日～6月21日  
 特別企画展「辰五郎と滋の見た明治の衣生活大転換」 平成29年10月19日～11月24日

平成30年1月末現在

月	企画展						常設展					
	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数
4							165	11	88	14	278	25
5	316	61	620	157	1,154	12	140	30	386	99	655	23
6	875	87	893	108	1,963	18	412	108	462	54	1,036	26
7							127	3	45	8	183	15
8							67	0	4	2	73	2
9							32	5	17	1	55	25
10	628	24	130	3	785	11	340	4	31	7	382	28
11	945	73	763	215	1,996	20	632	27	214	80	953	25
12							133	4	28	8	173	19
1							61	6	11	1	79	15
合計	2,764	245	2,406	483	5,898	61	2,109	198	1,286	274	3,867	203

	一般	教職員	学生	附属	計	開館日数
企画展合計	2,764	245	2,406	483	5,898	61
「まじない いろいろ・いろ・かたち」	1,191	148	1,513	265	3,117	30
「辰五郎と滋の見た明治の衣生活大転換」	1,573	97	893	218	2,781	31
常設展合計	2,109	198	1,286	274	3,867	203
入館者合計	4,873	443	3,692	757	9,765	

## 授業・団体見学対応

### 授業対応：自校史教育

パワーポイントを利用し、校祖渡邊辰五郎の生涯や裁縫雛形の概要を解説。  
その後、常設展・企画展見学。

月日	学科・科(学年)	授業名	人数
5月19日	服美(1)	基礎教育ゼミナール	65
5月24日	保育(短1)	総合演習	38
5月27日	附属中学(1)		72
5月30日	教福(1)	人間形成基礎論	43
5月30日	保育(短1)	総合演習	38
6月 2日	服美(1)	基礎教育ゼミナール	63
6月 6日	教福(1)	人間形成基礎論	41
6月 7日	保育(短1)	総合演習	40
6月 9日	服美(1)	基礎教育ゼミナール	62
6月13日	英コミ(1)	基礎ゼミ	52
6月16日	英コミ(1)	基礎ゼミ	104
11月23日	栄養(1)	フレッシュマンセミナー	399

### 授業対応：企画展展示解説

企画展示室、または講義室において、企画展の展示品解説や展示環境などについて解説。

月日	学科・科(学年)	授業名	人数
5月20日	栄養・教福(2)	博物館教育論	6
5月23日	教福(2)	文化人類学	22
5月30日	児教(1・2)	基礎ゼミナール	13
5月30日	附属高校(1)	世界史A	65
5月31日	育支・児学(2・3)	ゼミナール	9
6月 1日	附属高校(1)	世界史A	28
6月 5日	表現(4)	博物館資料保存論	46
6月 6日	附属高校(3)	世界史B	17
6月 7日	服美(4)	ゼミナール I	12
6月 8日	児童(大学院)		3
6月10日	表現(2)	博物館概論	60
6月12日	附属高校(1)	世界史A	27
6月19日	表現(4)	博物館展示論	49
10月25日	服美(4)	ゼミナール I	10
11月 1日	附属高校(1)	世界史A	92
11月 6日	服美(1)	和服論	143
	附属高校(1)	世界史A	27
11月 7日	附属高校(3)	世界史B	16
11月 8日	教福(1)	博物館概論	38
11月16日	表現(3)	博物館経営論	42
11月17日	服美(3)	博物館展示論	45
	服美(3)	博物館実習	30
11月21日	教福(1)	博物館概論	2

### 団体対応

本学校祖 渡邊辰五郎の出生地である千葉県長南町の長南町立長南小学校6年生の児童41名と教員3名が「長南町出身『渡邊辰五郎』に係る調べ学習」の一環で来館。

パワーポイントを利用し、校祖渡邊辰五郎の生涯や裁縫雛形の概要を解説。  
その後、常設展と構内を見学。

月日	団体名・来館者	人数
12月5日	長南町立長南小学校 6年児童・教員	44



長南小学校 対応

## 4. 寄贈資料・図書

平成29年度受入資料・図書〈平成29年4月1日～平成30年1月31日〉

### 資料

寄贈者	品名	数量
宮尾 茂雄 様	着物 他	14
林 加美子 様	着物	5
高塩 和子 様	裁縫雛形 他	5
村木 由紀子 様	裁縫雛形	7
川原 琴子 様	レース編み基礎 他	3
杉野 公子 様	消防服	1
岩崎 友子 様	半衿	2
山口 利子 様	裁縫雛形	2
土居 則子 様	鼻緒製造器	1
遠藤 洋子 様	袖形及び襟形 他	3
若林 閑 様	掛袱紗	1
佐々木 多美 様	着物 他	3
佐野 敬彦 様	着物 他	8
河野 忠代 様	着物 他	478

### 図書

寄贈者	品名	数量
梶原 利夫 様	女学講義 第五回前期第一巻 他	19
林 加美子 様	児童心理学序説 他	9
村木 由紀子 様	渡邊先生遺稿 新裁縫教科書 卷之一 他	3
青木 ふみ子 様	裁縫教科書 卷三	1
関根 耀子 様	織物大系	1
川原 琴子 様	専門教育裁縫全書 男子洋服の部 他	10
岩崎 友子 様	理論帳(授業ノート)	1
長崎 巖 様	ヨーロッパに眠る「きもの」	1
遠藤 洋子 様	裁縫教科書 卷一 他	8
河野 忠代 様	志村ふくみ作品集 他	3



## 5. 資料特別利用    6. 展示・講座等への協力    7. 資料保存・修復

### 5. 資料特別利用

申請者	種別	資料名	展示名・出版物名等	展示期間・発行日
岡谷蚕糸博物館	資料展示 写真使用	イヴニング・ドレス、スペンサー 他10点	企画展「19世紀ヨーロッパのドレス～モードとシルク～」	5月19日～8月10日
株式会社岡谷市民新聞社	写真使用	イヴニング・ドレス 他3点	岡谷市民新聞特集記事	6月24日朝刊
東京都板橋区立郷土資料館	資料展示 写真使用	裁縫雛形(重要有形民俗文化財) 他10点	企画展「板橋教育ヒストリー～寺子屋・女子教育・戦後教育を中心に」	9月29日～12月15日
株式会社東京堂出版	写真使用	陸軍将校正装 他13点	『日本服飾史事典』	9月25日発行
はたや記念館ゆめおーれ勝山	写真使用	スペンサー 他3点	企画展「海を渡った福井の羽二重」	1月21日～3月25日

### 6. 展示・講座等への協力

	日程	機関	内容	派遣者
学外	4月3日～3月31日	仙台市教育委員会	朴沢学園裁縫教育資料調査調査指導委員・調査員(資料調査指導、委員会等への出席)	三友 晶子
	4月20、21日	ヤマザキマザック美術館	展示・撤収作業および指導「もっと知りたい名画の世界 よそおいの200年」	三友 晶子
	5月23日、6月20日、7月24日	岡谷蚕糸博物館	展示・撤収作業および指導「19世紀ヨーロッパのドレス モードとシルク」	三友 晶子
	5月27日	岡谷蚕糸博物館	講座講師「実物のドレスでたどる19世紀ヨーロッパのファッション」	三友 晶子
	12月25日	東京国立博物館	寄贈候補作品の調査	高橋 佐貴子
	3月4日	はたや記念館ゆめおーれ勝山	講座講師「輸出羽二重の用途について—欧米ファッションとの関わりから」	三友 晶子
学内	5月24日	東京家政大学家政学部服飾美術学科	「ゼミナールⅠ(和服)」ゲストスピーカー	三友 晶子
	6月1日、7月13日、	東京家政大学共通教育推進室	共通教育科目「本学の創立と建学の精神」ゲストスピーカー	若林 繁 太田 八重美
	9月22日、12月22日	東京家政大学家政学部服飾美術学科	「民族服飾論」ゲストスピーカー	高橋 佐貴子 三友 晶子

### 7. 資料保存・修復

資料保存のための環境整備(温湿度管理、虫菌害対策等)として、収蔵庫の清掃、燻蒸、昆虫調査等に取り組んでいる。  
また、損傷や劣化の激しい資料については、必要に応じて安定化処理や修復を行う。

#### 資料保存

日程	内容
毎月1日	収蔵庫清掃
5月8日～22日	昆虫調査・同定分析
7月10日	収蔵庫大掃除
10月12～26日	昆虫調査・同定分析
12月19日	収蔵庫大掃除
1月26日～2月2日	業者による館外施設での資料燻蒸
2月9日	収蔵庫防虫剤入替

#### 資料修復

今年度は実施なし

## 8. 博物館実習

### 平成29年度 博物館実習生の受入

学科別の受入人数

服美	表現	英コミ	栄養	合計
34	62	1	1	98名

以下の3つ実習・課題を履修・提出し、実習が終了する。

1. 実務実習① 平成29年4月24日(月)～7月5日(水)のうちの連続3日間(月～水)  
実務実習② 平成29年9月5日(火)～8日(金)
2. 見学実習  
平成29年7月9日(日) 国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)
3. 課題提出(全6課題)  
レポート① 春の企画展「まじない いろいろ・いろ・かたち」  
レポート② 秋の特別企画展「辰五郎と滋の見た 明治の衣生活大転換」  
レポート③ 常設展(※前期・後期とも見学し提出)  
レポート④ 博物館開催イベント  
レポート⑤ 見学実習  
実習ノート

実習内容

実務実習①

[1日目]

- ①博物館活動について、展示室の清掃、展示室の環境とその管理
- ②収蔵庫見学、当館の資料について、収蔵庫内の環境と管理について
- ③資料の受け入れ概要
- ④企画展・常設展の運営・過去の実績について
- ⑤裁縫雛形について

[2日目]

- ①長着の裁ち方と柄合わせについて
- ②和服の種類と特徴
- ③和服地の染織について
- ④本だたみ・夜着だたみ、帯・コート・羽織・長襦袢・袴のたたみ方
- ⑤着物・帯の種類と着用場所との関係

[3日目]

- ①美術工芸品の取り扱い方  
美術工芸品取り扱いの説明、注意  
取り扱い方の実践(掛け軸、卷子、屏風、仏像など)

## ②美術工芸品の調査法

スライドを交えた作品・資料調査に関する説明  
調査の実践(主に掛け軸、仏像を対象に)

## ③作品、資料の保存・修復

スライドを交えた保存・修復に関する説明  
修復の実践(和綴じ)

## 実務実習②

## [A：着物について]

## ①和装資料の展示方法

衣桁、撞木、T字による展示方法  
マネキンに種類の異なる和装資料を着装。

## [B：作品・資料の展示]

## ①作品・資料の展示方法

## ②展示の実際の作業とその評価

絵画、彫刻、工芸品等を使つての展示作業  
解説文作り  
自己担当部分に関する簡単な説明  
自己評価

## [C：梱包実習]

## ①美術品輸送の実際

## ②美術品取扱の心構えと基本

## ③梱包資材

## ④陶器の梱包

## ⑤額装の梱包

## [D：写実実習]

## ①デジタルカメラの操作と写真の基礎

## ②平面資料・立体資料の撮影

博物館資料を撮影する際の注意点

学芸員がカメラマンに撮影を依頼する現場の雰囲気体験



A: 着物について



B: 作品・資料の展示



C: 梱包実習



D: 写実実習

## 9. 広報・普及活動 10. 東京家政大学博物館友の会(博友会)

### 9. 広報・普及活動

#### テレビ放送

東京家政大学博物館紹介	テレビ朝日	東京サイト 「大学の博物館」
東京家政大学博物館紹介	TBSテレビ	マツコの知らない世界 「大学博物館の世界」
春の企画展紹介	ケーブルテレビ(J:COM)	デイリーニュース
秋の企画展紹介	ケーブルテレビ(J:COM)	デイリーニュース

#### 雑誌掲載

東京家政大学博物館 常設展紹介

月刊「Kacce」共同クリエイティブ 6月号 「板橋のお宝を見に行こう」

#### スタンプラリーの実施

企画展・常設展の入館者にスタンプカードを配付

スタンプを4つ集めた方にミュージアムグッズをプレゼント。有効期限なし

ミュージアムグッズ：ステーションナリーセット

(手ぬぐい、ブックカバー、葉、一筆箋、シール) 3種

トートバック (6種)



ミュージアムグッズの一例

### 10. 東京家政大学博物館友の会(博友会)

①会員数 76名

②会報 年1回発行 6月

③見学会 春の見学会・総会

6月17日(土) ポーラ美術館

参加者規定人数に達しないため中止。総会は資料を送付。

秋の見学会・懇親会

11月18日(土)

東京家政大学博物館 特別企画展「辰五郎と滋の見た 明治の衣生活大転換」を学芸員の解説つきで見学後、学内食堂で懇親会

# 11. 博物館運営委員会 12. 博物館職員

## 11. 博物館運営委員

任期 平成28年4月1日～平成30年3月31日

委員長	若林 繁	博物館館長
	能澤 慧子	図書館館長
	保坂 克二	法人
	細田 淳子	児童学科
	鵜殿 篤	保育科
	家田 晴行	児童教育学科
	和田 涼子	栄養学科
	林 あつみ	栄養科
	杉野 公子	服飾美術学科
	新関 隆	環境教育学科
	高田 三平	造形表現学科
	小池 新	英語コミュニケーション学科
	西村 純一	心理カウンセリング学科
	平戸 ルリ子	教育福祉学科
	伊藤 仁	附属中学校・高等学校
	太田 八重美	博物館
	高橋 佐貴子	博物館

## 12. 博物館職員

博物館館長	若林 繁
専門主査	太田 八重美
学芸員	高橋 佐貴子
学芸員	三友 晶子
学芸員(嘱託)	鈴木 桃子
学芸員(嘱託)	白戸 伶奈
学芸員(嘱託)	関 智子
学芸員(嘱託)	鈴木 理子

東京家政大学博物館年報  
平成29年度

---

2018年3月15日 発行

発 行 東京家政大学博物館  
東京都板橋区加賀1-18-1  
Tel 03-3961-2918  
Fax 03-3961-5246

印 刷 株式会社 白峰社  
東京都豊島区東池袋5-49-6  
Tel 03-3983-2312